



石洞美術館賞
あざらし金具
石川智子

熊本県伝統工芸館賞
ザユニバース
「The Universe」
内田真帆



佐野市長賞
鑄銅花器「点」
清水 竜朗



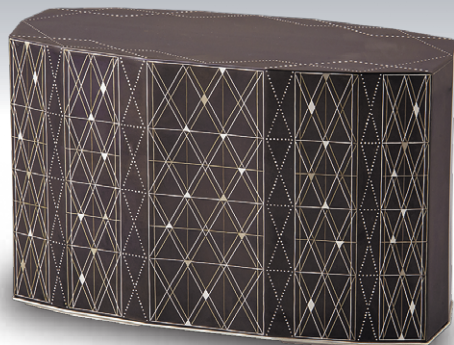
MOA美術館賞
雨金具
高橋由希子

宗桂会賞
鐵地象嵌花器「五月雨」
原 智

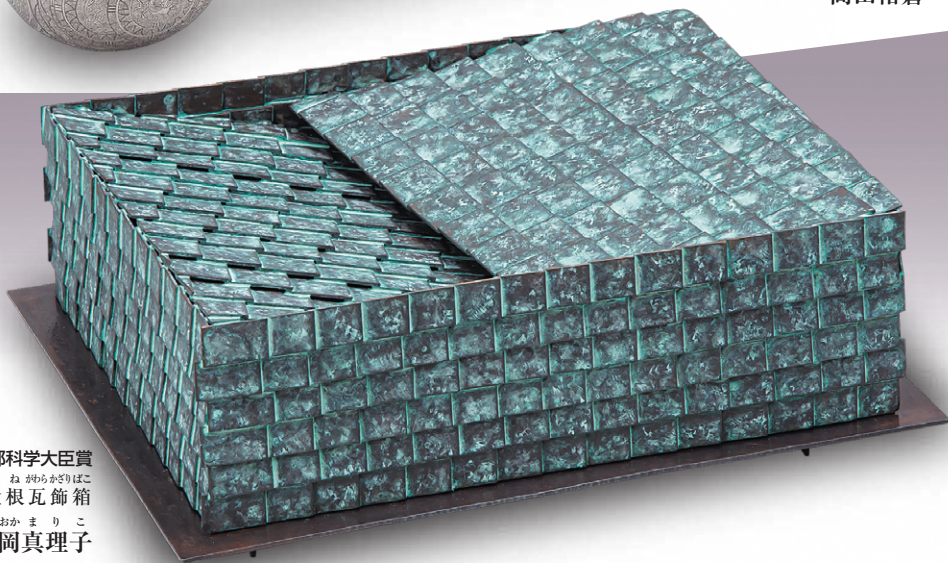


朝日新聞社賞
鍛銀流込象嵌柄香炉
高田裕蒼

東京都教育委員会賞
四分一象嵌箱「灯景」
長井未来



文部科学大臣賞
屋根瓦飾箱
住岡真理子



第54回 伝統工芸 日本金工展

2026年 5月23日 土 ▶ 6月19日 金

開館時間：午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）

休館日：月曜日

入館料：一般500円／学生300円

小学生以下（要引率者）、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料。

主催：公益社団法人日本工芸会 公益財団法人美術工芸振興佐藤基金
後援：文化庁 東京都教育委員会 朝日新聞社 公益財団法人宗桂会 一般財団法人熊本県伝統工芸館 MOA美術館 足立区 足立区教育委員会 佐野市 公益社団法人足立法人会
お問い合わせ：TEL.03-3888-7520（財団）03-3888-7512 URL.https://sekido-museum.jp/ 〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町23番地

石洞美術館
SEKIDO MUSEUM OF ART

第54回 伝統工芸 日本金工展

列品解説

■ 5月31日(日) 14時から

奥村公規 (重要無形文化財保持者・鑑審査委員長)

■ 6月7日(日) 14時から

坪内雅美 (公益財団法人アルカンシエール美術財団/
原美術館 ARC 学芸部長)

日本における金属工芸の伝統は古く、弥生時代には朝鮮半島から青銅器および鉄器とその製作技術が伝わり、早くも銅鐸など日本独特の金属器を製作しています。

その製作方法、技術は時代の影響を受けながらも連綿と受け継がれ、今日に至っています。

伝統工芸日本金工展は、このように我が国に古くから伝えられている鑄金、鍛金、彫金等の金属工芸の保存と発展を願って現代の生活に即した作品を創り、広く一般の方々に鑑賞して頂くとともに、批評を仰ぐことを目的として開催され、今回で54回を数えます。

様々な素材から様々な技術によって制作された133点の作品により、伝統的な金属工芸の美しさ、楽しさを味わって頂きたいと思います。



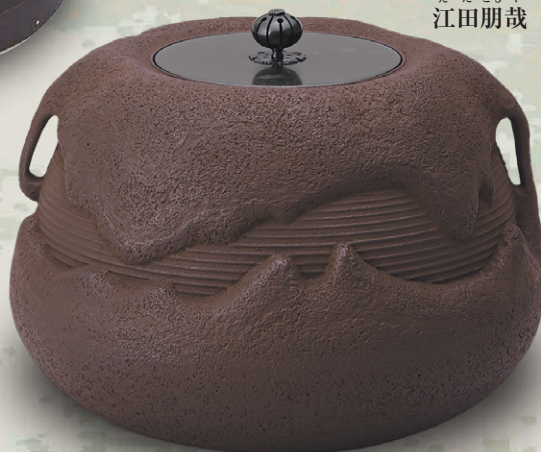
21*奨励賞
インターウォーブン ラインズ
「Interwoven lines」
なかむらはな
中村花



新人賞
きりぼめぞうがんはぎあわ こうごう めいせつや
切嵌象嵌接合せ香合「明雪夜」
かわだあゆり
河田歩里



21*金工部会賞
しよくとうきりぼめぞうがんこうす
赤銅切嵌象嵌合子「夜の遠吠え」
よる とおほ
かねだゆい
金田結衣



足立区長奨励賞
うはぐちかほ しんしん
焔口釜「深深」
えだともや
江田朋哉



石洞美術館
SEKIDO MUSEUM OF ART

交通機関

◎京成線「千住大橋」駅より徒歩3分

※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

次回展示の
開館20周年記念展
石洞山人 美を尊ぶ心(仮称)
2026年9月1日(火)~12月20日(日)

〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町23番地
TEL. 03-3888-7520 URL. <https://sekido-museum.jp/>

